

プレカットCADとBIM連携などに取組む

4号特例影響などでアンケートも

シーデクセマ評議会

シーデクセマ評議会
(藤澤好一理事長)は
10日、第18回通常総会
を開催し所定の議案を
承認した。

同評議会は、建築確
認において2026年
春からのBIM図面審
査に向けて、BIM連
携の世界共通フォーマ
ットであるIFCファ
イルとCEXDMファ
イルをつなぐ連携アプ
リの開発・サポートな
どに取り組んだ。

25年度の事業では技
術開発事業でパソコン
1台を購入し、福井コ
ンピューターキーテク
トのグローブのライセ
ンスを利用。IFC2
CEXDMの同評議会

仕様を公開した。

情報提供事業では25
年4月の建築基準法改
正に伴う4号特例縮小
による実務上の変化を
把握するためアンケー
トを実施。同評議会で
の今後の対応、支援策
などに生かすことなど
を目的に、プレカット
工場、住宅会社などを

対象にした。また、プ
レカット工場ヒアリン
グでは福井県の工場を
ヒアリングした。

26年度事業は、技術
開発事業では、林野庁
補助事業として日本C
LT協会、日本住宅・
木材技術センターの共
同事業のうち、日本C
LT協会として小委員
会を開設し、CLTS
truct Works
のIFCに必要な
要件定義の検討やCL
T Struct Wor

ksの専用IDSファ
イルの開発に向けた活
動を計画する。

情報提供事業では過
去2年間のアンケート
活動で、ある程度実態
を把握できたことで、
今後は実運用事例の収
集、発信を中心にした
活動へ重点を移してい
く。プレカットCAD
で作成された高精度デ
ータを活用したCED
XM連携事例につい
て、長さ・紹介を進め
ることなどを決めた。